

# 令和8年度予算案のEBPM「妊婦のための支援給付」

## 課題データ

- ・ 予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦における、理想子ども数を持たない理由として、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(52.6%)が最も多い。（「第16回出生動向基本調査」(2021年)）

## 事業

### 妊婦のための支援給付

令和8年度当初予算案：798億円

妊娠期からの切れ目ない支援を行う観点から、子ども・子育て支援法に基づく妊婦のための支援給付と、児童福祉法に基づく妊婦等包括相談支援事業等の支援を効果的に組み合わせて実施することにより、妊婦等への身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施する。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

### アウトプット

妊婦支援給付金の支給要件を満たす者に対する支給率  
2026年度 100%

### 短期 アウトカム

家計の経済的安定の増加（＝可処分所得－家計支出）

### 長期 アウトカム

理想の子ども数を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる夫婦の割合の減少  
（参考）（2021年度 52.6%）

## EBPM指標

## 目標

子ども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべての子ども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み